

【学校の教育目標】

・かしこい子 ・やさしい子 ・たくましい子

【目指す学校像】

学びと笑顔、元気あふれる戸ヶ崎小学校



【3つのキーワード】

重なりの協調 柔軟な捉え方

愉快地楽しく

自分自身の生き方

三郷市立戸ヶ崎小学校

校長 渡部 順一



【3年生の種蒔き】

戸ヶ崎小では、桜の季節が終わると次は、躑躅（つつじ）の花が、見ごろを迎えます。正門では、二宮金次郎像のあるところから少し奥に入ったところが、北門では前川中学校に向かう方のフェンス沿いが、色鮮やかです。

この季節に応じて、各学年では、4月3週目から生活科や理科の学習で、学級園や鉢植えの準備を進めています。もちろん1年生も、これから朝顔の栽培の準備に取り掛かります。



【2年生の学級園の整備】

このような農作業に係る法則の一つに、「刈り入れの法則」があります。

よい土づくりと良い種を蒔き、世話をする努力を重ねることで、良い果実を得ることができるということです

このことは、「因果律」と言い換えることができ、原因があるから結果があるということです。例えば、「夜更かしをして、次の日ぼーっとしてしてしまう。」というようなことです。

人生は因果。原因があって結果がある。自分自身の生き方しだいで変わる。

世の中では、自分で働きかけたことが返ってきます。良いことを働きかければ良いことが、そうでなければそれなりのことが返ってきます。

良いことをすれば必ず結果が出るとは言えませんが、良い結果が出るときは、良いことを粘り強く継続していることが多いです。自分自身の生き方が、大きくかかわっています。

保護者・地域の皆様のおかげとご理解とご支援のおかげもあり、各学級とも4月の教育活動を順調に進め、良い土づくりと良い種を蒔くことができています。

今月は、このがんばりを礎にして大空を泳ぐ「こいのぼり」のように、子供たちが明るくのびのびと活躍できるよう、教職員一同で教育活動を進めてまいります。引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。